

平成30年度 児童福祉週間標語

「あと一歩
力になるよ
その思い」

(全国9720作品の応募から最優秀作品に決定)

児童福祉週間とは

毎年5月5日の「こどもの日」から1週間のことで、子どもや家庭子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的として定められています。



教育支援
コーディネーター
田中 裕子

「学校の見学に行ってみたいけど…」「かんしゃくがひどくて。どこに相談したらいい？」0歳から15歳まで一貫した支援を行うために、保育園や幼稚園、小中学校への巡回相談や個別の相談など、お子さんや保護者が困っていることに専門員や関係機関と連携しています。

一人ひとりのお子さんに寄り添って、保護者と一緒に考えていきます。どうぞ、いつでもご連絡ください。

閩子ども課 ☎77-6205



“安心”に・・・一緒に考えていきます



子育て支援
コーディネーター
西村 まゆみ

核家族化や子育ての孤立化が、この小さな町でも深刻化しています。そこで、妊娠期から子育て相談のワンストップ窓口として、子育て世代包括支援センターを健康福祉課に設置し、専属で相談を受ける『子育て支援コーディネーター』を配置しています。コーディネーターは、育児に悩む保護者の相談に応じるとともに、育児に関する幅広い情報を集約し、適切な育児情報の提供、関係機関とのコーディネートを行い、切れ目のない支援を行います。

どんなことでも構いません。まずはお気軽にご相談ください。

閩健康福祉課 ☎77-2266



スクール
ソーシャルワーカー
青井 春香

スクールソーシャルワーカーは、子ども達が安心してよりよい学校生活が送れるように、お子様や保護者の皆様の悩みや思いに寄り添いながら、一緒に考えていく相談員です。

“学校に行きたくない” “元気が出ない” 等子ども達の言葉の背景には、様々な理由が存在します。その悩みや思いに寄り添い、お子様のペースに合った方法を、一緒に見つけていきましょう。

閩子ども課 ☎77-6205

れいんぼー便り⑩

人と人がつながり、支え合う地域をみんなで作るために

特別支援教育推進協議会

※この協議会は、小中学校、幼稚園、保育園、教育委員会、健康福祉課などの職員で組織しています。平成26年度まで発信していた「もやい便り」から平成27年度より「れいんぼー便り」に変更し、子どもたちについての情報をお知らせしていく予定です。



合理的配慮
アドバイザー
上野 令子

学ぶときに、見えづらければ、めがねを掛け、聴こえづらければ補聴器を使います。それと同じに、文章が読みづらければ、読む部分だけが見えるように他を隠し、聴き取ることが苦手ならば、聴くのと同時に絵や文字も示してあげれば、学ぶことが楽になります。

これはほんの一例ですが、子どもたち一人ひとりがより良い状態で学べるよう、相談を受け、支援策を一緒に考えます。

園子ども課 ☎77-6205

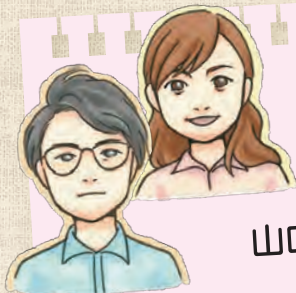


幼児「ことばの教室」
久保 江里子・久保 健彦

町内の各保育園等で、ことばや発達について相談（個別相談）に応じています。ことばの発達が遅い、「さかな」が「さたな」のように違うことばになる、「おおおはよう」と繰り返す、落ち着きがない、順番が待てない、同年齢の子とうまく遊べない、呼んでも振り向かないことがある、片付けが苦手、友達とケンカになる等のことで悩んでいることがありましたらご相談ください。

園子ども課 ☎77-6205

お子さんや保護者の皆さんの不安を



大刀洗町
社会福祉協議会
相談支援専門員
山口 猛・玉丸 千裕

障がい者や障がい児、また、ご家族から心配ごとや困りごとの相談をお受けしています。障がいがあってもその人らしい安心した生活が送れるように一緒に考えサポートしていきます。

また、福祉サービスを利用するためのお手伝いや関係機関との連携も行います。障がいの有無にかかわらず気になることがあればお気軽にご相談ください。

園社会福祉協議会 ☎77-4877(代)
☎23-2610(相談直通)



子ども支援ワーカー
保坂 亜矢子

大切な町の宝である子どもたちのために何が出来るか、また、誰に協力してもらえば親子ともに安心な生活が送れるかを一緒に考えていくことを大切にしています。家族の形は様々ですが、不安なことは家族だけで悩まないで、ぜひ教えてください。子育ての道のりは長いものです。誰かを頼ることがきっと子どもの安心につながります。

園子ども課 ☎77-6205